



集落営農から未来へ継承

平地農業地域

キーワード

保地
全
域
管
理
源
の

はただかんのうかい おおさかふみなみかわちぐんかなんちょう)

畠田寛農会（大阪府南河内郡河南町）

- 畠田寛農会は大阪府の東南部に位置し、大阪市内へ車で約40分で行ける地域にある。
- 活動開始以前は、施設の維持管理が中心であったが、21年頃から各自農機具を持ち寄り、遊休農地の解消に取り組んできた。25年度に寛弘寺地区営農協議会を立ち上げ、近畿農政局からの交付金を得て学校教育との連携事業（収穫体験・食育）も取り入れ活動を展開。27年度から同交付金を活用し、継続的な維持管理と学校教育との連携事業を拡大している。

【地区概要】

- ・取組面積9.4ha
(田7.4ha、畑2ha)
- ・資源量 開水路6.1km、農道1.5km
- ・主な構成員 自治会、老人クラブ、水利組合、農業者
- ・交付金 約26万円 (R02)

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、水田を中心に営農が盛んな地域である。また、いちじくの産地でもあり全国にも出荷している。
- しかし、後継者不足、遊休農地の発生予想など問題に直面するも、費用の捻出・営農者の確保が課題となる。



川の中にある
揚水口



遊休農地になる
恐れの農地

取組内容

- 現役農家を中心に活動を行いながら、人手不足を定年退職した非農家に営農指導を行い一級農家に育成。
- 遊休農地の未然防止策として、学校教育との連携事業に活用。（玉ねぎ・じゃがいも・さつまいもの収穫、芋煮会の開催）

非農家による
水路清掃



学校教育との連携
による

取組の効果

- 水路の維持管理等にも非農家が参加するようになり、一人当たりの労力が低減。
- 遊休農地の未然防止策で活用する農地（学校教育に使用）が初年度の20aから3年で80aに拡大。
- 食育を通じて子供達に農空間の大切さを継承し、未来の農家を育成中!!

農家と幼稚園児との
ふれあいの一コマ



農家と非農家の共同で
水路清掃を実施